



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。

日本共産党荒川区議会議員
斉藤くに子
区政ニュース

メール: arajcp@cn-catv.ne.jp 区議会 http://www.jcp-arakawakugidan.jp/
くに子ブログ http://s-kuniko.jugem.jp/



2024年3月10日 No.1350号

区役所直通 3802-4627

fax 3806-9246



★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は毎月第4月曜18時～

3月25日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮は随時随時に対応します。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

Tel/Fax 3806-5134

定例法律相談は予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

事前にご連絡ください。

介護保険料に続いて国保も値上げ！！

医療保険分

所得割 9.59/100 → 11.49/100 +1.9ポイント

均等割 80,100円 → 85,600円 +5,500円

賦課限度額 87万円 → 89万円 +2万円

平均 143,363円 → 156,520円 +13,157円

40才～64才の介護保険分

所得割 1.87/100 → 2.01/100 +0.14ポイント

均等割 16,200円 → 16,500円 +300円

賦課限度額 17万円 → 17万円 ±ゼロ

今年も4月から
の国民健康保険料
の値上げが計画さ
れています。

国民健康保険は、無職、高齢者や自営業、非正規労働者などが多く加入している保険です。当然、圧倒的に低所得です。モデルケースの試算表では、65才以上一人世帯/年金収入153万円(所得0)で、

所得割	均等割
加入者全員の所得 ×料率	均等割額 ×加入者数
40才～64才は介護保険分加算	

均等割が7割減額で、保険料は19,680円です。

65才以下/配偶者収入なしの二人世帯/年収609万円(所得400万)で、年間9万5千円以上の値上げで737,000円、収入の1割を超えています。

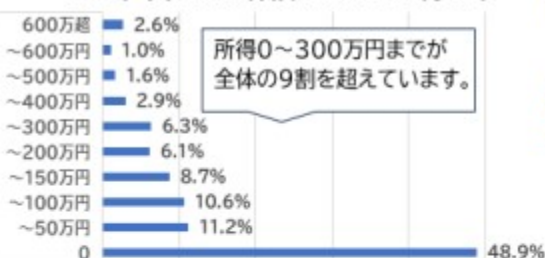
どう考えても国保料は高すぎ！！

2026年度までに必要な経費の半分を保険料で集めようとしています。今でも区民の支払能力をはるかに超えています。

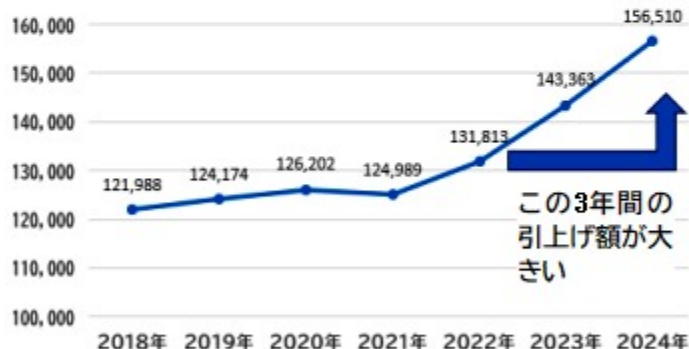
全国知事会は『協会けんぽの保険料並み』に引き下げのための『1兆円の公費負担増』を求めています。

高すぎる国保料は国政レベルで解決しなければならない問題ですが、荒川区の値上げ条例には異議ありの

荒川区国民健康保険加入者の所得分布



国民健康保険料の一人当たり平均額



意思表示をします。あちこちで条例案が通らなければ、国も都も慌てるのではないのでしょうか。

高齢者補聴器補助25,000円
2022年度利用者は189件

高齢者補聴器補助アップが必要です



厚労省に調査研究でも「補聴器をつければ生活の質が上がるのは確かだが、購入するまでがかなりハードルが高い」「価格の問題もある」と指摘しています。

2024年度から始める中野区は「片耳4万5千円両耳9万円の補助」北区は「非課税と均等割で7万円補助」を始めると発表しています。14区で荒川区より補助額は上です。

所得制限は外しましたが、荒川区も是非、一日も早く補助額アップを決断して欲しいと思います。

難聴の有病率 (軽度難聴以上)	60歳代 後半	70歳代 前半	70歳代 後半	80歳 以上
男性	44%	51%	71%	84%
女性	28%	42%	67%	73%

難聴となり、白内障の眼内レンズの手術も入れ歯も医療保険で出来ます。耳鼻咽喉科で検査をして、補聴器を購入し、自分の耳に合うように調整も行うので、保険適用もすべきではないでしょうか。

良く聴こえ、しっかり見えて、きちんと噛んで…衰えをカバーし、いつまでも元気で暮らせることが、みんなの願いです。



足立区

2023年度から助成金額を25,000円から5万円に引き上げ。「障がい福祉センターあしすと」自立生活支援室在籍の言語聴覚士による無料相談も実施し、当事者一人ひとりの生活状況を踏まえた上で、補聴器の相談に乗ってくれます。

2023年4月からは言語聴覚士を増員し、訪問相談も行っている。

港区

60才以上の住民に13万7千円まで助成(住民税課税者には2分の1)制度導入時に難聴の方々へのヒアリングや医師会や補聴器販売店とも相談して助成額を決定。

13万7千円以内の補聴器で十分適応する人も多く自己負担なく購入できる方が多い」と言う。

白内障のように保険で補聴器を

国立長寿医療センターによると、80才以上になると7～8割の方が加齢性難聴

区立特養の大規模改修～住み続けられるまでに

区分	施設名	住所	開設年	定員
区立	グリーンハイム	南千住6丁目	1989年	100人
	サンハイム	南千住3丁目	1995年	59人
	花の木ハイム	荒川5丁目	1999年	50人
民間	信愛のぞみの郷	西尾久1丁目	1994年	64人
	さくら館	町屋7丁目	2004年	86人
	癒しの里南千住	南千住6丁目	2012年	100人
	おたけの郷	町屋7丁目	2013年	140人

入所者の「居ながら工事」が難しいため移転先や用地などどう確保するかが、この間、課題となっています。

検討の結果、グリーンハイムについて、「蔵前」へ一時移転 2024年度で運営が終了する台東区の「特養ホーム蔵前(定員50人)」を借上げて、入所者の移転先として活用。施設を完全に空けた状態で大規模改修をすすめるとの方針が提案されました。

来年度から入所調整を行って定員を100→70人に減らし、さらにサンハイムへ15人、花の木ハイムへ5人を一時移転し、50人を蔵前へ移転としています(下表)。

大規模改修終了後は100人定員に戻る予定ですが、サンハイム、花の木ハイムの入居者の一時移転先として活用するため、花の木ハイムの大規模改修が終わる2032年度までは実質定員50人に。

区内特養ホームが少ないため待機者は現在400名程度おり、改修期間の受け入れ減や通所サービス・ショートステイ実施への影響も心配です。

災害時の福祉避難所とともに、介護が必要になっても区内で住み続けられるように、施設、体制整備を引き続き求めていきます。

	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
グリーンハイム(定員100人)	入所調整(100→70)	大規模改修		再開				
	サンハイムへ15人・花の木へ5人・蔵前へ50人移転			蔵前から50人・花の木から5人戻り				
サンハイム(定員59人)	運営	入所調整(59→45)	大規模改修		再開			
			グリーンハイムへ45人移転		グリーンハイムから45人戻り			
花の木ハイム(定員50人)	運営			大規模改修				
				グリーンハイムへ45人・サンハイムへ5人移転				



赤川次郎さんの推理小説が好き。軽快なタッチで物語が進み、時間を忘れて読み通してしまう。『三毛猫ホームズシリーズ』は、ほぼ読んだ。

今は『夫は泥棒、妻は刑事』シリーズ。「泥棒は世界を救う」は来日した中米の大統領狙撃事件から始まる。武器を輸出して大儲けをしたい企業と大臣…何だか今の日本政府の裏側を見ているようで…

区立の特養ホームは3か所あり、一番古いグリーンハイム荒川は1989年開設・今年で35年目、サンハイム荒川、花の木ハイムもそれぞれ築28年・24年で、大規模改修の実施時期が迫っています。

区は順次、改修を行う予定ですが、



子どものインフルエンザワクチン助成 今年10月から始まる

荒川区の小児インフルエンザワクチン接種の助成が実現します。

9月末に案内を郵送。10月から、病院が設定している料金から2千円を差引いた額を支払って接種を受けることになります。

接種費用は病院によって異なりますが、1回あたり3,000～5,000円のように。お子さんが多い世帯など、助成が始まって大変と言うご家庭もあるかと思います。千代田区や渋谷区、文京区は全額助成しているようです。荒川区も全額補助が出来るといいですね。

対象：6か月～15才まで
13才未満までは2回
13才から15才は1回
助成額は1回2,000円

高齢者も13区で無料に

75才以上	中央・新宿 墨田・葛飾・江東
72才以上	北
70才以上	目黒
65才以上	千代田・港・太田 渋谷・文京・足立

高齢者のワクチンを無料にしてほしい



高齢者のインフルエンザワクチン接種の助成もありますが、荒川区は2500円の自己負担があります。23区中、13区では無料で受けられます。インフルエンザと新型コロナの同時流行が予想されるとして、東京都が65才以上の方のワクチン接種を2022年に一年だけ無料にしました。この時、あ

る医療機関では接種者数が25%も増えたと言います。

お金の心配で受けない方も多いのだと思います。重症化しやすいご高齢です。無料にしたいですね。



銀行店舗が減っている

現在、荒川区にある3大メガバンクの店舗は①みずほ三ノ輪支店 ②三菱UFJ三河島支店 ③三井住友日暮里支店 ④三井住友町屋支店だけ。

対面取引は不採算部門と考えているのか、スマホ・ネット取引を主流にしようとしているのか、この間、窓口店舗の数が減った。通帳の再発行には1,100円も取られるようになった。

ATMで入出金しても、紙の通帳に慣れた世代としては、通帳記帳しないと不安。登録している印鑑の変更、口座の解約、相続の手続きやローンの繰上返済などは窓口でしか出来ない。

また業者の皆さんは、窓口がなくなったら、手形や小切手の入金・融資の相談などはどうしたら?

窓口がなくなることで困ることが出てくるのではないかと。